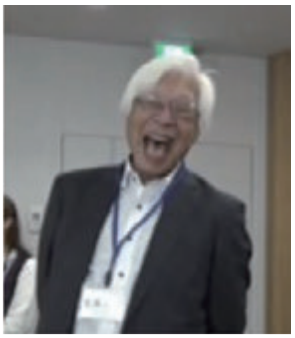
一般社団法人
ロゴス腹話術研究会
2026年7月1日
会報
第31号

説教　怒りを吹き飛ばす「笑い」の奇跡　　春風シロー（石橋秀雄牧師）

（春風イチロー師匠生誕100周年記念 秋季研修会 2025年11月23日）



聖書のコヘレトの言葉３章１１節

「神のなさることは、すべてその時にかなって美しい」

今日は、この御言葉を皆さんにお分かちできるのを、本当に楽しみにして参りました。

◆ 理不尽な怒りを吹き飛ばす「狂言の笑い」

皆さん、私は今、非常に腹を立てておるんです！ 実は今日、ここへ出発する前に「６時２４分の電車に必ず乗ってください」と切符をいただき、朝５時に起きて余裕を持って家を出ました。ところが、よりによって京浜東北線が事故で動いておらず、必死に探したものの指定の電車には乗れませんでした。私は約束を破るのが大嫌いな人間です。それなのに結果的に約束を破ることになってしまい、本当に情けない、悔しいと、自分自身に激しい怒りを感じながらここへ向かったわけです。

さあ、このように理不尽なトラブルに見舞われ、激しく怒っている時、皆さんはどうしますか？……そう、笑うんですよ！ 怒っている時こそ、あえて笑うんです。これはテレビで見かけた野村万作さんの「狂言風の笑い」なのですが、お腹の底から「うわー、はっはっはっはっは！」と笑ってみると、不思議と本当に笑えてきて、心がスッキリとほぐれるのです。はい、皆さんも一緒にやってみましょう。「うわー、はっはっはっはっは！」。

◆ 分裂してしまった険悪な教会で起きた奇跡

心がほぐれたところで、ある教会の話をしましょう。そこは、牧師先生が病気になられてから教会が大混乱に陥り、先生についていけない人たちと支えようという人たちが激しく対立して、ついに真っ二つに分裂してしまった教会でした。しばらくして外に出ていた人たちが帰ってきて一件落着かと思いきや、心は分裂したままでした。一緒に礼拝堂に座ってはいるものの、右を向いても左を向いても腹が立つという、どうにもならないくらい険悪なムードになっていたのです。

そんな修羅場のような教会から応援を頼まれたのが、この私です。実際に行って礼拝をしますと、彼らは神の言葉に飢えていますから、説教だけは本当に真剣に聞いてくれます。私はその時、「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。」（詩編133編1節）という御言葉を引いて、なんとか教会を建て直そうと語りかけました。大変だったのは礼拝が終わった後です。あれほど喜びを持って説教を聞いていたのに、終わった途端、みんな一言も口をきかないのです。

その日はクリスマスと同じくらい大切にしている「会堂献堂記念礼拝」という特別な日で、礼拝後は私の大好物のカレーで昼食会でした。ところが、礼拝が終わって昼食会になった途端、みんな実につまらなさそうな顔をして座っているわけです。

「何だ、この顔は」と思った私は、皆に「さあ、皆さん立ってください！」と声をかけました。教会員たちは立ってはくれたものの、顔は険しいままです。そこで私は「さあ、皆さん笑いましょう！」と言いました。何の理由もないけれど、とにかく笑いましょうと言ったんです。

最初はみんな警戒して全然笑いませんでしたが、私が先頭に立って「ははははは！」と十分間くらいずーっと、無理やりにでも笑わせていたんです。そしたら、最初は「なんでこんな険悪な時に」と思っていた人たちも、十分経ったらだんだん本当に「わははははは！」と笑い出し、みんなで大爆笑になりました。最後に狂言の笑いで「うわー！」と締めくくると、皆「こんなに笑ったのは初めてだ」「すっきりした」と笑いながら帰っていきました。

皆さん、それから教会がガラリと変わったんですよ。御言葉を聞く姿勢も、教会員同士の交わりも深くなって、本当に良い教会に生まれ変わったんです。神様が私に「笑うことの大切さ」を気づかせてくださったからです。今でもその教会からは寄せ書きのクリスマスカードが届き、私が行くとどんなつまらない話でも大喜びで聞いてくれます。そう、つまらない中にも、必ず良いことがあるんですよ。

◆ 師匠のベッドサイドで必死に書き留めたメモ

さて皆さん、ここからが今日一番大切な、本題のお話です。なぜ、教会で「みんなで笑ったこと」があんな奇跡の大転換を生んだのか。なぜ「笑うこと」が私たちの信仰にとって重要なのか。実は私に、本当に不思議な「奇跡」があったんです。

最愛の師匠、春風イチロー先生が召される一週間前の危篤状態の時、長女のめぐみさんからお見舞いのお許しが出て、私はベッドのそばに駆けつけました。師匠の姿を見た途端、涙が溢れて止まりませんでした。ベッドの横にひざまずき、先生が最期に絞り出された言葉の数々を、私は必死になってメモ用紙に書き留めました。そこには、私たち弟子への溢れんばかりの愛と豊かな内容が遺されていました。でも、先生が天に召された後は悲しくて辛くて、そのメモを見るのも切なく、私の机の上にずーっと置いたままになっていたのです。

◆ 死の直前に遺された「だんしがしんだ」の爆笑回文

それから月日が流れた昨年の十二月二十八日、ふと机の上の紙が目に留まり、「あ、あの時のメモだ」と久しぶりに手に取って読んでみました。すると皆さん、そこに何が書いてあったと思いますか？ 驚きました。イチロー師匠は死を目前にした極限の状態、人間が一番恐れる危機の真っ只中にいながら、なんとこんなことをおっしゃっていたんです。

「だんしがしんだ」ってね。

「シロー、よく聞きなさい。上から読んでも『だんしがしんだ』。下から読んでも『だんしがしんだ』。これ、回文なんだよ」って。あの立川談志師匠が亡くなった時のことをおっしゃったのでしょう。師匠はこれを何度も繰り返して、ベッドの上で大笑いされたんです。このメモを読み返した時はひっくり返るほどビックリし、同時に身体が震えるほどの感動が突き上げてきました。これこそが、イチロー師匠が命をかけて見せてくれた「死に向かう姿勢」であり、師匠の心を支配していたものの正体だったのです。

◆ 笑いは神の圧倒的勝利を呼び込む「信仰の告白」

人間、だれしも「死」は怖いものです。出来れば直視したくない。だけど、キリストの十字架と復活によって、私たちはすでに罪と死に勝利している。その大いなる「安心の基地」に守られているからこそ、イチロー師匠は迫りくる死という恐怖の化け物を前にして、「だんしがしんだ！」って大笑いすることができたんです。死の力を、ユーモアで完全に笑い飛ばしてしまった。

教会が「十分間笑っただけで生まれ変わった」理由も、ここにあります。お互いに腹を立て、いがみ合っている時、私たちの心は「死（絶望）」に支配されています。だけど、そこで理由もなく大笑いしてみる。それは単なる気休めじゃないんです。私たちの後ろにおられる神様の圧倒的な勝利の光をその現場に引っ張ってくる「信仰の告白」なんですよ。

「神のなさることは、すべてその時にかなって美しい」。分裂の苦しみも電車の遅延も、そして肉体の死でさえも、神様の手の中では必ず美しいものへと変えられます。イチロー師匠の大爆笑の遺言は、私にそのことを力強く教えてくれました。つまらない、苦しい毎日の中にも、神様は必ず素晴らしい「笑い」と「良いこと」を用意してくださっています。だから皆さん、どんな時も安心して、大いにお腹から笑って歩んでまいりましょう！

（イチロー師匠ベッド上での笑い。写真より）

2026年度 総会・研修会 （2026年4月29日、グリーンパレス春日井）

一般社団法人ロゴス腹話術研究会の総会で可決された議案の要点は以下の通りです。

1. 2025年度事業・決算報告 本年度の大きな成果として、春風イチロー師匠生誕100周年記念事業である「記念台本集」が全国の会員の協力により完成しました。また、春風とんぼ先生の相談役就任、田口昭典先生の新理事就任を含む新役員体制への移行が報告されました。各種研修会やボランティア活動の実績とともに、当該年度の決算が承認されています。

2. 2026年度事業計画・予算案 「ロゴスの心と技」の研鑽と伝承を方針に掲げ、とんぼ先生から台本作りや技術を学んで次世代へ継承していくことが確認されました。具体的には、初心者向けワークショップを通じた裾野の拡大、広報の充実、全国の腹話術師が学び合える交流環境の整備を推進する事業計画と、それを支える予算案が可決されました。

3. 報告事項 新たに整備された「写真・動画の取り扱いガイドライン」が共有され、SNS等で活動を発信する際の同意取得やプライバシーへの配慮といったルールが周知されました。

腹話術演技

それぞれが観客（特に子どもたち）に飽きさせないよう、ユーモアやクイズ形式、歌遊びなどを交えながら、大切な教訓やメッセージを伝える工夫が凝らされています。QRコードから研修会での演技動画が視聴できます。演技の多くは記念台本集に掲載されています。合わせてどうぞ。

1.栗山友紀さん（人形：あいちゃん）／「交通安全」

内容とポイント: 道路の歩き方や信号の見方など、基本的な交通ルールを教える内容です。道路は右端を歩くこと、青信号でも車が来ないかよく見てから渡ること、黄色信号がチカチカしたら渡らないことなどを人形のあいちゃんと掛け合いながら説明しています。

特徴: 観客を巻き込む工夫が見られ、「横断歩道では大きく手を上げて右左右を見る」という動作を、会場の観客と一緒に練習して盛り上げています。

2.宮路ミヤ子さん（津島グループ他２名）／「大根さん、人参さん、ごぼうさん」

内容とポイント: 泥んこになった野菜たちがお風呂に入る順番で、今の色になった由来を語る童話風のお話です。

- ○最初に入ったごぼうさんは、お湯が熱くてすぐに出てしまい、洗えなかったので泥だらけ（黒い）のまま
- ○次に入った人参さんは、熱いのを我慢して入っていたので赤くなった。
- ○最後の大根さんは、前の2人が入ってお湯がぬるくちょうど良くなったので、ゆっくり体を洗って真っ白になった。。

特徴: リズミカルな「熱いかな？ぬるいかな？」という掛け声とともに進行し、最後は「お風呂に入る時は綺麗に洗ってね」と子どもたちへのメッセージで締めくくっています。腹話術は、複数でも楽しく演技できることを知らせてくれました。

3. 舟橋博子さん（人形：けんちゃん）／「幸せの王子」

内容とポイント: オスカー・ワイルドの童話『幸せの王子』のあらすじを人形のけんちゃんに語り聞かせる内容です。

特徴: 導入で「自分の家に毎年ツバメがやってくる」という話題から入り、自然な流れで童話の世界に引き込んでいます。王子の銅像がツバメに頼んで自分の装飾品を貧しい人々に分け与え、最後は神様に永遠の命をもらって楽園で暮らすという感動的なストーリーを通して、「困っている人がいたら手を差し伸べられるようになりたい」という温かいメッセージを伝えています。

4.板倉弘子さん（人形：しょうちゃん）／「交通安全」

内容とポイント: 交通事故で一番危ない「道路への飛び出し」の危険性を強調する内容です。車は急には止まれないため、絶対に飛び出してはいけないと教えています。

特徴: 「右をよく見て」と言われて首が痛くなるほどキョロキョロしたり、右にいるお母さん（術者）を見つめたりと、人形のしょうちゃんのコミカルなボケを交えて笑いを誘います。最後は「大事な体、大事な命」を守るために絶対に飛び出さないことを約束させています。会場の子供たちに問いかけ、皆が「車！」と元気に答える微笑ましいやり取りもありました。

「いつまでも元気に保育園で遊びましょう」と子供たちの健やかな成長を願う親心にあふれた温かいメッセージが心に響き、会場全体が優しい空気に包まれる素敵な演技でした。

春風演技： 春風ウータンさん（人形：カナンちゃん）／「宇宙の力」

テーマ:宇宙の力と神様の働き

・コミカルな導入（宇宙って何？）「宇宙って分かる？」という問いかけに対し、人形のカナンちゃんが「丸くて甘いペロペロキャンディのこと？」と勘違いして答えるという、子どもにも親しみやすいユーモラスなやり取りから始まります。観客とも掛け合いを経て、地球や空、お日様などすべてが宇宙だと優しく教えています。

・ガガーリンの逸話を通した気づき 宇宙飛行士のガガーリンが暗い宇宙の中に浮かぶ「青く輝く地球」を見たエピソードを紹介しています。それまで神様を知らなかったガガーリンが、一瞬にして神様の存在に気づき、その後は神様の言葉を人々に伝えるようになったという感動的なお話を語り聞かせます。

・お祈りの大切さと平和への願い 保育園で毎日お友達としているお祈りを通しても、神様の力が分かり、心が綺麗になることを伝えています。そして、宇宙の力（神様の働き）によって世の中が平和になり、戦争が起きないようにとお祈りすることの大切さを説いています。

・聖書の言葉による締めくくり 最後は、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことに感謝しなさい。これこそがキリスト・イエスにおいて神が望みたもうことである」という聖書の言葉（テサロニケの信徒への手紙）を引き、ハレルヤの挨拶で美しく締めくくっています。

特徴: ウータンさんの自然で優しい語り口を通して、子どもの可愛らしい勘違いから、いつの間にか壮大な宇宙と神様のお話へと引き込まれていく展開が特徴です。平和への願いという大きなテーマを、子どもたちの身近な「毎日のお祈り」にしっかりと結びつけて語りかける、深いメッセージ性と温かさにあふれた演技となっています。

腹話術とは？

春風とんぼ

腹話術とは、私と人形と観客、この一組のことばの「掛け合い」だと誰が決めたのかな？
私たちは、今、何の不思議をも感じないで

○　けんちゃん（胸音）
×　ナーニ（頭音）
○　あのね（胸音）
×　ウン（頭音）で9パタ、打音

「けんちゃん」は胸音で、「ナーニ」は頭音で、「あのね」は胸音、「ウン」は頭音
ははあー

これが口ゴスの型で、その型を師匠、春風イチローが決めてくれた。

演じてみると、いかにも、三人の掛けあいは、見事にほんまの人間が演じているみたい。生の、本物の三人の人間が語り合っているみたいに、みえる、名人の技です。

私が初めて出会った、カレー会社の人形は、実は、実は、頭音も胸音も、巧みな手・足も口も目も……どこも動いていなかったのです。

それでも、私は、びっくり仰天。

更に、腹話術の歴史を細かくひもといてみると…腹話術とは何？

ヨーロッパをさぐってみると、占い師など、どこかの神にたよる技に？

吾が国においても、何かふしぎな神様にたよる芸？

初めて、師匠春風イチローにより、「主にたよる心と技」に到達したわけです。

ロゴスの腹話術に導かれるみなさん　心と技をくらべつつ、楽しい「ロゴスの腹話術」をきわめて下さい。いつまでも…。

春風イチロー師匠との思い出

春風笑一

春風イチロー師匠と

私が春風イチロー師匠の存在を初めて知ったのは、今から半世紀以上前の1967年クリスマスイブ前夜のことでした。NHKのテレビ番組「ある人生（副題：聖書と人形）」で、若き日のイチロー師匠が人形のケンちゃんと対話する姿に、白黒の画面越しに強く惹きつけられたのを今でも鮮明に覚えています。

それから12年後の1979年、私はついに天城での初心者腹話術講習会に参加し、憧れの師匠と対面しました。到着が遅れた私を師匠は温かく受け入れてくださいましたが、いざ講習が始まると、そこには想像を絶する厳しさがありました。発声法から人形操作、所作に至るまで手加減なしの徹底指導です。時折飛ぶ「愛のどやし」は恐怖ではなく、「道からそれてはいけないよ」という深い親心として初心者の私の胸に響きました。この厳粛な空間で、私は腹話術が単なる一人芝居ではなく、言葉への重い責任が伴う「対話劇」であるという真髄に気づかされたのです。

研修最終日、一人ずつ皆の前で台本を演じる試練がありました。この時、師匠は「演技を『してもらいます』」ではなく「演技を『します』」と宣言されました。そこには「あなたが演技をする時は、私があなたと共に演技をするから」という強くて温かいメッセージが込められていました。

本番、「人形を抱いて会場に入る前から、既に演技が始まっていると思え！」という言葉が胸を占め、極度の緊張に襲われました。無我夢中の演技の途中で「はい、そこまで」と止められ不合格を覚悟しましたが、最後に「馬場熙、60点合格」と呼ばれ、四級の認可証明書を受け取った時の安堵と喜びは今も色褪せません。

その後、一級の試験で不合格になった際は、かつてテレビで見た師匠の路傍伝道の姿を思い出し、屋外で通りすがりの高校生の前で実演するなど実践を重ねて合格を掴みました。さらにシンガポールでの世界大会では、師匠の「お前は英語の教師だから英語でしなさい」との言葉に応えて初段の賦与を受けます。帰国後、師匠から直々の電話で「春風笑一」という芸名を拝受したことは、何にも代えがたい喜びとなりました。

圧倒的な熱量を持つ「愛のどやし」で基礎を叩き込んでくれたイチロー師匠。言葉の重みや舞台に立つ者の心構え、そして「いつでも共にいる」という安心感を与えてくれた師匠の教えは、二段となった今も、私の心の中で温かく生き続けています。

（本稿は要約版となります。ご寄稿全文については、ロゴス腹話術のホームページをぜひご覧ください。）

お寺さんにボランティアに行く時の一般的マナー

春風赤とんぼ

皆さん、今日はお寺さんなんかで腹話術をやらせてもらう時のマナーやコツについて、お話しさせていただきますね。

1.お寺さんに行く時のマナー

まず数珠ですが、使わない時は左手にかけておくといいですよ。阿弥陀様を拝む時は両手にかけますが、宗派によってやり方がちょっと違います。お説教を聞く時は、膝の上や左手首に置いとくといいです。 それから略肩衣は、よそのお寺では使わずに自分の旦那寺でだけ使ってくださいね。 お寺の山門をくぐる時や帰る時、手を合わせてちょっと頭を下げると「あの人は品があるな」と思われます。控室に通されたら、まずは入り口近くの下座に座るのが基本です。案内された席に座ればいいですが、一番よい住職さんの席だけは遠慮します。

2.仏様にお尻を向けちゃいかんですよ

演技の前後には、お人形と一緒に阿弥陀様や仏様に向かって、ちょっと手を合わせて一礼しましょう。演技をする時は、仏さんにお尻を向けちゃいかんです。椅子をちょっとずらしてやってくださいね。台本作りには、お寺にある仏典童話を借りてきて参考にするのをおすすめします。お釈迦様の誕生日の「花まつり」用の台本を一つ持っておくとあちこちで使えます。 例えば「天国と地獄」の話もね、昔は「閻魔様が鏡で生前の行いを見てた」なんて言いましたけど、今は「全部宇宙からDVDに録画されています。パソコンで見られてますよ」なんて現代風にふざけてやると面白いんですよ。

3.わからないことは素直に聞けばいいんです

お寺でも教会でも、わからないことがあったら住職さんや神父さんに「どうしたらいいですか？」って聞けばいいんです。何も恥ずかしいことなんてありません。

最後に、これは別の方のお話なんですが、花まつりに呼ばれて行ったら、老人会と重なってしまってお客さんが全然来なかったことがあったそうです。開演は遅れましたが、後から子どもさんとご家族が来てくれました。人数はともかく、腹話術や手品やバルーンアートを必死にやって、喜んでもらったって言ってました。どんな状況でも、一生懸命やることが大事です。

台本集についての懇談

「春風イチロー師匠生誕100周年記念台本集」の完成を記念した懇談会が開かれました。出席者からは「文字が大きく見やすい」「カラーイラストが楽しい」と完成を喜ぶ声が多数寄せられました。
特に、「イチロー師匠人形操作写真」には大きな感銘が集まりました。**術者と人形の視線がぴったりと一致し、その先にあるものを双方が生き生きと捉えようとしている姿**に、「目線がいのち」はできそうでいて非常に難しい最高峰の技術であり、年月を経ても色あせない素晴らしいものだ」と絶賛する声が上がりました。この最高の「お手本」が詰まった台本集を、これからどう生かしていくかについて、活発な意見が交わされました。

- **自分流へのアレンジと挑戦** 掲載された他者の台本を土台に、自分流のアレンジを加えて発表する機会を増やしたいという意見が出ました。「良いところを吸収して真似させてもらいたい」といった声もあり、互いに刺激を与え合うツールとして、次のボランティア活動へ踏み出すきっかけになることが期待されています。
- **研修会などでの実演共有** 掲載作品を、作者本人が総会や研修会で実際に演じて披露することが提案されました。文字で読むだけでなく実演に触れることで、台本がより生き生きと伝わり、作成者の思いや苦労を深く学ぶ機会になります。
- **基本を学ぶテキストとしての活用** 本作には、台本作成のポイントや導入の基本パターンも収録されています。「本棚にしまい込まず、手元に置いて何度も読み返してほしい」との思いも語られ、腹話術を深く学ぶための「生きた教科書」として大いに活用されることが望まれています。
- **未来へ思いを届ける道しるべ** この台本集に詰まった思いを受け取り、ロゴスの腹話術として人々の元へ届けていきたいという決意が語られました。単なる作品集にとどまらず、私たちが目指す今後の目標を示す「道しるべ」として評価されています。

春風イチロー師匠生誕100年記念台本集

石川県の七尾教会、かまどたつお先生への募金のお願い

能登半島の地で、長年にわたり腹話術を通してたくさんの人々に笑顔と神様の愛を届けてこられた、七尾教会（石川県）のかまどたつお先生は、当研究会の理事も担ってくださっています。震災から2年半が経過した現在、七尾市ではインフラの復旧や家屋の公費解体などが一段落し、ようやく街の「にぎわい」やコミュニティを取り戻す本格的な復興のフェーズへと移りつつあります。しかし、完全な街の再生や住民の方々の心のケアには、まだまだ長い時間と継続的な支援が必要です。
このような困難な歩みのなかにあっても、かまど先生はユーモアと希望を絶やさず、地域の方々の心を腹話術で支え続けていらっしゃいます。
ぜひ、皆様からの温かいお気持ちを募金としてご協力いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

（※詳細は下記をご参照ください）

（ホームページより。かまどたつお先生）

■2026年度 年会費（6,000円）、募金のお願い
【年会費・寄付金振込先】（名義は、“一般社団法人ロゴス腹話術研究会”です）
ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127
※お願い：通信欄には、お手数ですが、振り込みの内訳（2026年度年会費、募金）をご記載ください。

※募金期間
2026年～8月末

〈編集後記〉
今号は春風イチロー師匠生誕100周年を記念し、師匠の「笑い」の力や深い愛情に触れるエピソードが満載です。各先生方の原稿を通し、ロゴス腹話術の心と技の尊さを再確認できました。また、総会や研修会で披露された皆様の腹話術演技も本当に素晴らしかったですね！完成した記念台本集と共に、この温かい思いと確かな技を次代へ繋いでいきましょう。

発行：一般社団法人 ロゴス腹話術研究会 事務局　〒211-0005　神奈川県川崎市中原区新丸子町734–1 アベニオ新丸子ビル402号
TEL：044-733-6650　FAX：03-6868-3638　メールアドレス：harukaze@logos.or.jp　ホームページ：https://logos.or.jp